



スポーツ少年団 ふじさわ

発行日；2024年 3月10日

藤沢市スポーツ少年団本部

藤沢市朝日町1-1
藤沢市役所本庁舎8F
Tel 0466-50-8243

題字 谷口三千也 本部長

ごあいさつ

藤沢市スポーツ少年団 本部長 谷口 三千也



今年は2024年。オリンピックの開催される年です。東京で2回目のオリンピックが開催されたのが2021年。新型コロナ感染拡大の影響を受け、1年遅れての開催でしたが、それからもう3年が経ちました。ふたたび、スポーツによる世界の盛り上がりが出てきます。オリンピック・パリ大会は、いよいよ7月に開幕です。

さて、オリンピックといえば、五輪のマークが有名です。誰もが目にしているロゴマークですが、表している意味について知っておくことも大切かと思えます。

五輪マークを考案したのは近代オリンピック創始者のピエール・ド・クーベルタン氏で、1914年に行われたIOCの式典で披露され、1920年の第7回アントワープ大会（ベルギー）から開会式において使用されています。

オリンピック憲章によると、「5つの大陸の団結とオリンピック競技大会で世界中の選手が集うことを表現する5つの結び合う輪を持つ」とされています。

5つの大陸とは、ヨーロッパ、アフリカ、アジア、アメリカ、オセアニアの5つであり、左から、青、黄、黒、緑、赤の5色で構成すると決められているものの、どの色がどの大陸を表すかは決められていないようです（色を決めてしまうと、アフリカ大陸が黒→黒人などのように差別的にとらえられる恐れがあるからでしょうか）。また、この5色と白地を合わせた6色で世界中のほとんどの国の国旗を彩色できる＝世界中をカバーできる、ということのようです。

5つの輪の配置については、ワールド（WORLD）＝世界の頭文字であるWの形になるよう配置されたものであり、世界が団結した大会であることを表しています。

このページの左上にあるロゴマークは、スポーツ少年団のマークです。皆さんもいろいろな場面で見知っていると思います。

スポーツ少年団は、1964年に日本で最初に開催された東京オリンピックを契機として1962年に創設された青少年団体です。そのこともあって、スポーツ少年団のロゴマークには5つの輪がデザインとして入っています。若葉は、伸びる青少年を、5つの輪はスポーツと連帯を表したデザインになっています。

オリンピックをきっかけにできた組織ではありますが、子どもたちには、オリンピックの開催には関わりなく、つねにスポーツを愛し、スポーツを楽しみ、スポーツに熱中して、仲間と共にお互いに大きく伸びていってほしいと思います。

新型コロナが発生してから、まるまる4年がすぎました。様々制約を受けてきたコロナ禍の日々から抜け出すことができた今、健康管理にはこれまでどおり充分気をつけながら、スポーツを大いに満喫してほしいと思います。今年の団員の皆さんの活躍を楽しみにしています。

パリオリンピックは、7月26日から8月11日まで行われます。パリでの開催は、1924年以来100年ぶり、3回目となります。熱戦が期待されます。

スポーツ少年団交流会 結果報告

●第4 2回関東ブロックスポーツ少年団競技別交流大会 空手道競技会

期 日：2023年7月28日（金）～30日（日）

会 場：7月28日（金）エスフォルタアリーナ八王子 総合開会式

7月29日（土）、30日（日）東京武道館 空手道競技



結 果：神奈川県チーム 総合第五位

藤沢市スポーツ少年団所属選手が活躍し、形競技で優秀な成績を収めました。

形競技男子Aチーム 優勝：岩田 煌将 森川 鼓太良 米田 晃清

形競技女子Aチーム 優勝：小島 実紗 高橋 果歩 小島 明依

形競技女子Bチーム 第三位：多田 溪



神奈川県空手道チーム 開会後の記念写真



神奈川県空手道チーム 表彰後の記念写真

●ラクロス交流会（体験会）

期 日：2023年11月5日（日）

会 場：秋葉台公園球技場

青空の下、例年よりも多くの方が参加してくださり大変嬉しく思います。参加や周知にご協力頂きありがとうございました。また、エキシビジョンとしてラクロスの試合も行われました。

皆よい笑顔でボールを追いかけて、楽しそうにプレイする姿が印象的でした。

2028年に行われるロサンゼルスオリンピックでラクロスが正式に追加競技となりました。

日本では競技人口はまだ少ない種目ですが、未来ある子ども達の目標になったと思います。

未来の日本代表選手が藤沢市から出てくれることを願いながら、これからもラクロスの楽しさを知っていただけるように活動に励みたいと思います。



●バレーボール交流会（第39回本部長杯）

期 日：2023年11月19日（日）

会 場：秋葉台文化体育館 第一体育室

参加団体数：9団体

参加チーム数：全15チーム

女子の部 7チーム

男子・混合の部 5チーム

U-10の部 3チーム

参加人数：135人



開会式は、司会を湘南フェアリーズが務め、谷口本部長より激励のご挨拶を頂いた後、善行大越FROGSキャプテンが元気いっぱいの選手宣誓を行いました。

さらに、令和5年度上半期本部長表彰として藤沢クラブが表彰されました。

藤沢クラブは、7月8日に開催された第46回神奈川県スポーツ少年団競技別交流大会バレーボール競技男子の部で優勝しました。

開会式後、恒例となった湘南みどりが丘幼稚園鼓笛部の演奏会を観覧した後、長らく中止していた園児とのバレーボール教室をスポンジボールを使いながら行いました。



大会結果：女子の部優勝（本部長杯） 羽鳥
 男子・混合の部優勝 藤沢クラブ
 U-10の部優勝 湘南台ジュニア



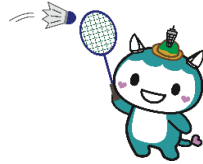
●バドミントン交流会（第47回秋季大会）

期 日：2023年11月23日（木・祝）

会 場：秩父宮記念体育館

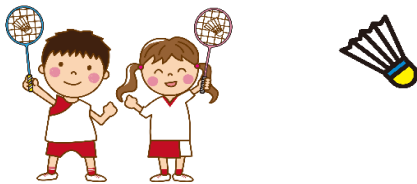
参加チーム数：9チーム

参加人数：90人



4年ぶりの秋季大会開催となりました。コロナ前は男女別々のリーグ戦でしたが、今年度は男女混合チームで全チーム総当たりのリーグ戦を行いました。

個人戦の試合が多いバドミントンですが、この大会でチームが今まで以上に一致団結できたのではないのでしょうか。



優勝 大清水バドミントン



準優勝 グリーンシャトル



第3位 秋葉台バドミントン

保護者も一緒にじゃんけん大会で、盛り上がりました。



恒例！じゃんけん大会



●第21回全国スポーツ少年団バレーボール競技交流大会 神奈川県予選会

期日・会場：2023年12月2日（土） 県下10会場
12月3日（日） ひらつかサン・ライフアリーナ

参加チーム数：女子の部 35チーム
男子の部 13チーム

結果：藤沢市のチーム 女子の部 優勝 羽鳥バレーボールスポーツ少年団
男子の部 第三位 藤沢クラブ

女子の部優勝の羽鳥バレーボールスポーツ少年団は、2024年3月28日（木）～31日（日）に宮城県セキスイハイム スーパーアリーナ他で開催される全国大会の出場が決まりました。



キャプテンのコメント

優勝できたのは、監督、コーチ、支えて下さる皆様のおかげです。

OB、OGの方々の応援も後押ししてくれました。

団創立50周年に優勝を飾れて良かったです。

全国大会頑張って
楽しんでください！！



●第35回神奈川県スポーツ少年団空手道交流大会

期日：2023年12月16日（土）
会場：岩崎学園 新横浜2号館体育館

参加数：10団130名程度、競技登録220名程度

藤沢市からの参加人数：1団23名（形22名、組手21名）

大会役員1名、協力役員1名

カテゴリーを級位・段位別、学年別そして男女別として、出来る限り入賞の機会を増やしました。

登録人数により、優勝、準優勝及び第三位2名にメダルと賞状が授与されましたが、さらに参加者全員に参加種目毎に敢闘賞の賞状が授与されました。全員がそれぞれに頑張りました。良い大会だったと思いました。

藤沢市からの参加者の第三位以上の入賞者は、以下の通りです。

【個人形】

女子小学1年～2年生6級～4級 準優勝：野中 千詩
男子小学3・4年3級以上 準優勝：岩田 煌将

第三位：多田 常

女子小学5・6年3級以上 優勝：多田 溪

男女小学5・6年10級～7級 優勝：成生 瑛洋

【個人組手】

女子小学1年～2年生6級～4級 優勝：野中 千詩

男子小学1年～2年生6級以上 準優勝：多田 真

男子小学3・4年3級以上 第三位：平 朔弥 多田 常

女子小学5・6年3級以上 優勝：多田 溪

準優勝：藤野 実花

第三位：古瀬 由里子



●ミニバスケットボール交流会（教育委員会杯）

期 日：2024年2月3日（土）、10日（土）、12日（月・祝）

会 場：秩父宮記念体育館、藤沢小学校体育館、明治小学校体育館

参加チーム数：男子10チーム、女子10チーム

参加人数：393人

6年生にとってはミニバス競技を締めくくる最後の大会という事もあり選手・保護者一同大いに盛り上がりました。

大会2日目は二会場（藤沢小学校と明治小学校）同日開催でジュニア戦

3日目には第59回富浦・藤沢交流会も行われ、6年生を中心に試合をする事が出来ました。



結 果：男子の部

優 勝 藤沢本町

準優勝 富士見台

第三位 鶴沼、新林藤が岡

女子の部

優 勝 明治

準優勝 藤沢本町

第三位 鶴沼、湘南台

優勝チームからのコメント

男子 藤沢本町 副キャプテン

1年前の教育委員会杯ジュニア戦から新チームがスタートしました。

最初はみんなの息が合わない時もありましたが、練習や試合を重ねてチームがまとまってきました。

みんなで勝ち取った優勝とても嬉しかったです。

女子 明治 キャプテン

試合の前日に、自分たちで考えたプレーを監督に相談して練習しました。

試合当日、みんなの心が一つになりずっと負けてきたチームに、最後の最後に勝つことができました。とても嬉しかったです。

6年生はチームを卒団し中学校へ、ジュニアの皆さんは4月から新チームとして、それぞれ新しいステージでの活躍が楽しみです。大会運営にご協力いただきました各チームスタッフ・保護者の皆さま、本当にありがとうございました。



第50回スポーツ交歓会 結果報告

期 日：2023年10月29日（日）

会 場：秋葉台文化体育館 第一体育室
 主 催：藤沢市スポーツ少年団本部
 主 管：藤沢市スポーツ少年団本部 事業活動部会
 後 援：藤沢市・藤沢市教育委員会
 参加団：16団
 参加人数：合計535名（子供379人、大人156人）

今年は4年ぶりにコロナ禍前と同じ形式で開催することができ、右表のように多くの団、団員が参加し、保護者も含め、一日楽しく過ごすことができました。
 また、今年で50回という記念すべき交歓会となりました。

参加団体名	
No.	団体名
1	湘南222天神ミニバスケットボール
2	藤沢本町ミニバスケットボール
3	シャノワール
4	湘南びっころラクロス
5	湘南台ジュニアバレーボール
6	トータスクラブ
7	富士見台ブルースター
8	小糸バドミントン
9	スカイラクバレーボール
10	大濤会湘濤塾
11	遠藤道場
12	秋葉台バドミントン
13	鶴沼ミニバスケットボール
14	石川ミニバスケットボール
15	大道バドミントン
16	湘南空手道クラブ

プログラム

No.	種目	内容・方法等
	入場行進	各団趣向を凝らしたプラカードを持ち、2列縦隊でフィールドを1周した後、演台に向かって整列
<div style="display: flex; justify-content: space-around;">   </div>		
	開会式	大会会長あいさつ・来賓のことば・選手宣誓。

○大会会長 谷口本部長



○鈴木市長



○教育委員会 岩本教育長



○選手宣誓（藤沢本町ミニバス） 力強い選手宣誓でした。



○競技種目説明 櫻井部会長



○競技種目

- ①体操
- ②ジャンケンゲーム
- ③キックボール競争
- ④団対抗リレー予選
- ⑤○×クイズ
- ⑥クリーン作戦
- ⑦二人三脚（1団体につき2チームまで）
- ⑧団対抗リレー決勝
- ⑨仮装リレー

1 体操 体操の出来る隊形に広がり音楽に合わせて準備体操を行う。



2 ジャンケンゲーム 10人で1チーム。1人ずつ関門役とジャンケンをして勝ったらゴールへ負けたら列の最後尾に戻る。ゴールに一番早く全員入った組が優勝。



3 キックボールリレー 10人で1チーム。ラグビーボールをバトンにして蹴りながらリレーする。



4	みんなでジャンプ	8の字大縄跳び。1チーム15人程度で競技時間2分以内に跳んだ回数で競う。
---	----------	--------------------------------------

順位	団体名	記録
1位	小糸バドミントン	109
2位	藤沢本町ミニバスケットボール	103
3位	富士見台ブルースター	100
4位	湘南222天神ミニバスケットボール	88
4位	秋葉台バドミントン	88
	湘南台ジュニアバレーボール	87
	トータスクラブ	81
	湘南空手道クラブ	71
	遠藤道場	66
	大道バドミントン	60
	石川ミニバスケットボール	58
	湘南ぴっころラクロス	57
	大濤会湘濤塾	47
	鶴沼ミニバスケットボール	38
	シャノワール	28



5	団対抗リレー予選	4人で1チーム。バトンリレー。4・5チームによる予選。ブロック予選で1位のチームのみ決勝に進出し、最終順位を決める。
---	----------	--

予選ブロック順位（1位チームが決勝へ進出）

順位	Aブロック	Bブロック	Cブロック	Dブロック
1位	藤沢本町ミニバスケットボール	鶴沼ミニバスケットボール	遠藤道場	富士見台ブルースター
2位	湘南台ジュニアバレーボール	石川ミニバスケットボール	秋葉台バドミントン	大道バドミントン
3位	小糸バドミントン	シャノワール	湘南ぴっころラクロス	湘南空手道クラブ
4位	天神ミニバスケットボール		スカイラーク	大濤会湘濤塾
5位	トータスクラブ			



6	○×クイズ	全団員参加。問題に対してあっていれば○、間違っていれば×に分かれる。
---	-------	------------------------------------



7	クリーン作戦	2人×4組で1チーム。雑巾をバトンにして雑巾掛けをしながらコース中の関門役とジャンケンし、勝てばそのまま次の走者にバトンをつなぐ、負けたら雑巾掛けをしたまま関門役の周りを一周しバトンをつなぐ。
---	--------	--



8	二人三脚	2人×4組で1チーム。2人で肩を組み、内側の足をバンドで縛り、リレー式の競争を行う。バトンの受け渡しの代わりに、バンドの着脱による交代とする。
---	------	---



9	団対抗リレー決勝	ブロック予選で1位のチームのみ決勝に進出し、最終順位を決める。
---	----------	---------------------------------

順位	チーム名
1位	藤沢本町ミニバスケットボール
2位	遠藤道場
3位	鶴沼ミニバスケットボール
4位	富士見台ブルースター



2人×5組+仮装者で1チーム。指導者や父母をリレー形式で仮装させていき5組目で完成させる。仮装終了後、トラックを1周する。



閉会式

表彰

- みんなでジャンプの表彰 全チームに記録賞を渡す。
- 団対抗リレーの表彰 1位から4位までを表彰する。



インタビュー (一部抜粋、団名省略)

- みんなで楽しいことができる機会がなかなか無いから良かった。
- クリーン作戦でのジャンケンや息を合わせることが難しかった。疲れた。
- 印象に残ったのは宣誓をやったこと。声が小さく聞こえにくくて申し訳ございませんでした。
- 違うチームがいて、すごい人数がいてびっくりした。
- 雑巾掛けは足が疲れた。判定がおかしくて悔しかった。絶対2位だった。
- 時間が短かった。面白かった。もっと長い時間やってほしい。
- 二人三脚は難しかったけど入賞できて良かった。
- みんなでジャンプは練習よりうまくできた。

仮装した感想

- 楽しいです。嬉しいですね。癖になりそう。ヤバイ。
- なりきった。やらされた。楽しかった。最高ですね。
- 着心地いいです。楽しいです。
- 可愛いです。ちょっと熱いけど楽しかった。
- とても素敵だと思います。
- 魔法が使えるような気がする。

アンケート結果

1. 感想

- 子どもたちが異種目のユニフォーム姿で、一同に会す素晴らしい機会でした。
全員の集合写真を撮りたい。
- 普段一緒に稽古している友達と一緒にチームとして力を合わせてゲームができ楽しかった。
- 初めて参加したが楽しかった。
- コロナ禍で色々な行事等が制限されていたので、この様なイベントができて良かった。
- 試合とは違う和やかな雰囲気での他のチームと一緒に楽しかった。

2. 競技種目について

- 子どもも仮装できるのを観たい。
- 他の団体ともう少し交流を持てるゲームがあると関係が広がりさらに楽しめそう。
- 他の団体と混合で参加する競技を作ってほしい。
- 借り物競争、パン食い競争、ドッジボール、椅子取りゲーム、綱送り、障害物競争。
- 親子協力(保護者も参加)の競技種目を希望。
- リレーは低学年、中学年、高学年、(中学生)等の年齢別の人数を合わせてほしい。
- リレーの人数、二人三脚の組数を増やして欲しい。

スポーツまつり ふじさわ2023 取材報告

期 日：2023年11月12日（日）

会 場：秩父宮記念体育館、秋葉台文化体育館、秋葉台公園球技場

主 催：藤沢市、スポーツまつりふじさわ2023実行委員会

秩父宮記念体育館種目

トランポリン
ネットパスリレー
リングザキャッチ
ドンパリレー
ラダーゲッター
ストラックアウト
シャッフルボード

ボッチャ
バウンドテニス
卓球
卓球バレー
スリッパ卓球
レク式体力チェック
マンカラ

モルック
太極拳体験
スラックライン
健康度チェック
フライングディスク
地場野菜の販売
バルーンアート

秋葉台文化体育館・秋葉台公園球技場種目

スポーツライミング
トランポリン
フライングディスク
ストラックアウト
ラダーゲッター
シャッフルボード
迷路（キッズコーナー）
卓球バレー
ボッチャ
メディカルチェック
バルーンアート

ネットパスリレー
リングザキャッチ
ドンパリレー
バウンドテニス
ソフトバレーボール
スポーツウエルネス吹矢体験
空手体験
ターゲットバードゴルフ体験
グラウンドゴルフ体験
ラクロス体験
ラグビー体験

陸上競技
野球体験
ノルディックウォーキング
スラックライン
バスケットボール体験
モルック
ゲートボール
歩くプロジェクト
地場野菜・手芸販売
飲食販売・キッチンカー
野外ファミリーコーナー



トランポリン



ストラックアウト



シャッフルボード



ボッチャ



フライングディスク



リングザキャッチ



バルーンアート



空手体験



スポーツクライミング



キッチンカー



飲食販売

令和5年度 スポーツテスト会 結果報告

期 日：2024年1月20日（土）
 会 場：秋葉台文化体育館 第一体育室
 主 催：藤沢市スポーツ少年団本部
 主 管：藤沢市スポーツ少年団本部事業活動部会
 後 援：藤沢市・藤沢市教育委員会
 対 象：令和5年度藤沢市スポーツ少年団本部登録団員で、概ね小学校4年生以上の男子・女子

参加単位団及び参加人数

No.	単 位 団	男子	女子	合計
1	湘南台ジュニアバレーボール	6	9	15
2	大庭ミニバスケットボール	7	14	21
3	大道バドミントン	0	5	5
4	湘南ぴっころ	3	4	7
5	小糸バドミントン	4	7	11
6	鶴沼ミニバスケットボール	9	9	18
7	湘南空手道クラブ	8	2	10
8	秋葉台バドミントン	2	7	9
9	六会レッズ	19	2	21
	合 計	58	59	117

体力測定[運動適性テストⅡ]

- 4 種 目
- 立ち幅跳び
 - 腕立て伏せ
 - 5メートル時間往復走
 - 立ち3段跳び



○谷口本部長：今日は大寒、1年で最も寒い日ですが、9団117名が参加してくださいました。スポーツテストは自分の得意、不得意を知ることができます。会場の都合で7種目中4種目を実施します。怪我のないように頑張ってください。

○準備体操 (代表 鶴沼ミニバスケットボール)



○立ち幅跳び



○腕立て伏せ



○5メートル時間往復走



○立ち3段跳び



○閉会式



閉会后、各チームごとに記録を計算し、合格証などを頂いて解散となりました。

●参加者の感想

○5メートル時間往復走

- ・難しかった。
- ・凄くきつかった。
- ・休憩がほしい。
- ・数えるのが難しかった。

○立ち3段跳び

- ・友達の記録をこせたから良かった。
- ・跳ぶのが難しかった。
- ・両足で跳ぶのが難しい。
- ・思ったより跳べた。

○腕立て伏せ

- ・きつかった。
- ・難しかった。
- ・一番いやだった。

○全体の感想

- ・凄く楽しかった。 ・面白かった。
- ・もっとやりたかった。
- ・種目をもっと増やしてほしい。
(シャトルラン、50メートル走、他)
- ・自分の実力が判って良かった。
- ・記録が伸びて嬉しかった。
- ・10点取れなかったけど楽しかった。
- ・いつもやらない動きをしたから難しかった。
- ・楽しかったけどキツかった。
- ・3種目でよかった。
- ・ずっと出れなかったからやれて良かった。

○立ち幅跳び

- ・結構跳べた。
- ・難しかった。

藤沢市スポーツシンポジウム2023 報告

期 日：2023年10月1日（日） 午後2時30分～午後4時30分

会 場：藤沢市民会館小ホール

参加者数：連盟所属の関係6団体を中心に170名超の市民が参加

参加費：無料

主 催：藤沢市スポーツ連盟

共 催：藤沢市・藤沢市教育委員会

<プログラム>

司会：フリーアナウンサー 宮川 浩子氏

開 会

開会あいさつ：藤沢市スポーツ連盟 会長 林良雄

市長あいさつ：藤沢市長 鈴木恒夫

第1部【基調講演】

テーマ「監督が怒ってはいけない大会を開催した理由」

講師：益子直美氏（女子バレーボール元日本代表、日本スポーツ少年団本部長）



【プロフィール】

中学からバレーボールを始め、共栄学園高校ではエースとして活躍し春高バレー準優勝。3年生で全日本代表入りを果たす。その後、イトーヨーカ堂でエースとして活躍する。1990年日本リーグ初優勝、1992年現役引退。引退後は、スポーツキャスターをはじめ幅広く活躍するほか、2015年から「監督が怒ってはいけない大会」を主催する。2023年女性として初めて日本スポーツ少年団本部長に就任。

【講演の内容】

部活動における監督からの暴言による自死やパワハラ指導などがニュースになる今、「怒る指導」ではなく、子どもたちが「スポーツは楽しい」と思え、自ら考え継続できるような環境にしていくにはどうしたらよいか、これからのスポーツの指導のあり方について、ご講演をいただきました。

第2部【パネルディスカッション】

テーマ「これからの藤沢のスポーツ」

アドバイザー：益子直美氏

慶応義塾大学政策・メディア研究科 教授 仰木裕嗣

藤沢市立湘洋中学校 校長 坪谷麻貴

パネリスト：藤沢市地区社会体育振興協議会連合会 会長 新海政雄

藤沢市スポーツ推進委員協議会 副会長 石井昇

日本大学藤沢高等学校3年生（サッカー部） 田原成起

日本大学藤沢高等学校3年生（サッカー部） 有田海志

藤沢市立湘洋中学校3年生（バスケットボール部） 佐々木亮太郎

藤沢市立湘洋中学校3年生（バスケットボール部） 大塚蘭乃

コーディネーター：宮川浩子（フリーアナウンサー）

【皆さんの活動は。地域との繋がりは】（敬称略）

- 新海 地区レクを3年ぶりに行えた。地域の社会体育協議会は、地区レクなどで地域の自治会活動を支えている。若い人の参画が大切である。学校と地域とが連携して盛り上げることが第一。
- 石井 少子高齢化が進む中で後継者不足が心配。中学校部活動の地域移行を考えると、市の公共スポーツ施設が不足していると思う。
- 田原 サッカーを通して、藤沢市のスポーツを盛り上げたい。
- 有田 選手権を目指している。サッカーは応援によって力を得る。この経験を今後活かしたい。
- 佐々木 小学生の時は地区レクを楽しみにしていたが、中学になると部活が忙しく参加していない。
- 大塚 女子バスケット部であるが女子サッカーにも興味があり地域スポーツに活かしたい。地域移行のことは初めて知った。

【藤沢のこれからのスポーツについて】

- 新海 運動の大切さ、地域社会体育の大切さを知ることが健康寿命を延ばすことにつながる。地区レクではいろいろな人との出会いがある。
- 石井 子どもから大人まで楽しめるスポーツまつりに参加してほしい。ニュースポーツを通して地域の活性化につなげたい。
- 田原 全国大会を目指している。自分たちの活躍が藤沢を盛り上げる。
- 有田 サッカー部が頑張り、多くの人に元気を与え、藤沢の活性化につなげる。
- 佐々木 夜間開放などに友だちを誘って参加してみたい。
- 大塚 小学生の時に地区レクに友だちを誘って参加していたので、地域のイベントに参加していきたい。

【アドバイザーより】

- 益子 中高生の意見は素晴らしい。学生にも地域スポーツにも参画させて活躍してほしい。ドイツでは18歳で団体の理事がいる。部活動は日本の伝統的文化であり、世界的にも素晴らしい面がある。部活7日間では地域との連携はない。複数のスポーツを経験でき、余裕を持った部活が大切である。

- 仰木 藤沢ならではのスポーツがあっても良い。海を活かしたヨットやサーフィンなどのスポーツを育てるのも良い。神奈川の子どもの体力は長年最下位。運動をしない子どもが多い。スポーツの機会を広め、体を動かすことが必要である。
- 坪谷 学校現場では地域移行の議論は進んでいない。中学生が気軽に参加できる地域スポーツ行事を増やして、スポーツの経験のない文化部員の指導など、地域との連携を図ることが大切である。



閉 会

閉会あいさつ：藤沢市スポーツ連盟 副会長 谷口三千也

藤沢市スポーツ連盟のプロフィール

2021年4月に発足。藤沢市における「競技スポーツ」「地域スポーツ」「レクリエーション」「障がい者スポーツ」など、スポーツ関係6団体間における情報交換及び相互協力を行い、市民の健康増進及び体力向上と、スポーツ・レクリエーション活動の普及促進を図るとともに藤沢市のスポーツ推進施策の実現に努めることを目的としている。



2023年度 神奈川県スポーツ少年団研修会【藤沢会場】報告

期 日：2023年11月11日（土）
 会 場：藤沢市民会館 第2展示ホール
 主 催：神奈川県スポーツ少年団指導者協議会
 共 催：神奈川県スポーツ少年団
 参加人員：J S P O公認資格更新研修者34人及び県内スポーツ少年団指導者及び保護者
 テーマ：「ジュニア・ユーススポーツの指導のあり方」
 ～中学部活動の地域移行への対応について～

神奈川県スポーツ少年団 阿部 本部長 挨拶



今年から公認スポーツ指導者を対象として、資格更新研修を兼ねて開催することになり、多数の参加をいただきました。

ジュニアスポーツの大改革、大転換の時期に来ているスポーツ環境の変化について、富田先生の講演により学校スポーツ環境が地域移行して行く中で、どのように活動していくかを考えながら参加していただければと思います。

藤沢市スポーツ少年団 谷口 本部長 挨拶



藤沢市は2年前にスポーツ都市宣言をして、スポーツに力を入れて行こうというところです。藤沢市スポーツ少年団は現在11種目、55団体、約1,400名が登録をしていますが、少子化の影響で登録団員数が年々減少して伸び悩んでいます。

指導者として大切なのは指導方法、指導技術、指導環境の向上だと思います。この研修会はそれを考える大切な機会ですので、皆さんで頑張りましょう。

神奈川県スポーツ少年団 指導者協議会 梅井 委員長 挨拶



指導者協議会として、これまで長年継続して指導者研修活動を行って来ました。今年は指導者協議会にとっても大きな変革の年になりました。

今回の研修は、日本スポーツ協会（JSP0）公認スポーツ指導者資格更新の為の研修と併せて実施出来るようになりました。

本日は、「指導者マイページ」等を通じて、更新希望者34名の申し込みを頂きました。神奈川県スポーツ協会から受講者の登録番号を日本スポーツ協会（JSP0）に申請をして4年に一度の更新受講実績となります。

今回も富田先生にお願いして、中学校部活動の地域移行にあたり静岡県袋井市の取り組みのご紹介と、神奈川県内の少年団の関わり方について講演を頂き、その後、意見交換・グループ討議を行います。

第一部：講演

講師 富田寿人 教授

静岡理科大学教授

日本スポーツ少年団常任委員

講演テーマ：中学校部活の地域移行にともなうスポーツ少年団の役割



第二部：グループワーク

グループ討議テーマ：4つのテーマから2つを選んでグループ討議

- ① 中学部活動地域移行について考える
- ② 魅力的なスポーツクラブ活動をつくるには
- ③ ジュニアスポーツに求められること
- ④ 子どもの居場所とスポーツ活動

グループ討議の進め方：

- ・6～7人を1グループとし7グループ（受付時抽選済）を進める

- ・役割分担（ファシリテーター、発表者、記録者）をしながら充実したグループ討議を行う
 - ・1つのテーマについて30分を目途に意見交換を行いまとめる
- 発表：1グループ3分以内で発表する



第32回 藤沢市スポーツ少年団指導者講習会 報告

期 日：2023年12月2日（土）
 会 場：秩父宮記念体育館4階 軽体育室
 主 催：藤沢市スポーツ少年団本部
 主 管：藤沢市スポーツ少年団本部指導者活動部会
 参加費：無料 参加者：25名

谷口本部長あいさつ

スポーツの意味の中に楽しむという言葉が入っています。スポーツは楽しんでやるものです。スポーツ少年団の活動理念の第一番目に、より多くの青少年にスポーツの楽しさを与えるとあります。今日の講演を糧にして、活動に活かしていただければと思います。

講演「笑顔湧き出る関わり方～みんながスポーツを楽しむ場づくりを～」

講師 一般財団法人フィールド・フロー 代表
 柘植 陽一郎（つげ よういちろう）氏

【プロフィール】

- ・1968年生まれ
 - ・辻堂小学校 湘洋中学校 藤沢西高等学校卒 辻堂東海岸が実家
 - ・KDDI入社 広報に従事（10年間）
 - ・2005年 プロコーチとして独立
 - ・2006年 スポーツに特化したコーチングを開始
 - ・2008年北京五輪・2012年ロンドン五輪で金メダリストや指導者をサポート
 - ・2011年～2014年 JOC強化スタッフ（医・科学スタッフ）
スノーボードナショナルチームメンタルコーチ
 - ・2014年～2016年 Honda HEAT（ラグビートップリーグ）メンタルコーチ
 - ・2018年 ラクロス男子日本代表チームで世界選手権入賞・シード権獲得に貢献
プロ・オリンピック代表から中学高校部活動まで幅広くサポートする。
- 日本全国で、選手・指導者・トレーナー・スポーツ関係者にむけてメンタル・コミュニケーション・チームビルディングに関する講演を行っている。



アンケート結果（25人全員回答）

(1) 講演内容はどうでしたか。

1	非常に満足	17	68%
2	満足	7	28%
3	普通	1	4%
4	不満	0	
5	かなり不満	0	



(2) 今後、希望する講演内容について

- ・今回の講演、柘植先生のお話をまた聞きたいという意見が多かった。
- ・その他、次年度以降の参考になる意見もみられた。
- ・今回の講演内容がとても好評だった。

柘植 陽一郎 氏 による「三者会議」への提案（2月22日原稿受理）

昨年12月に藤沢市スポーツ少年団関係者の皆さまに向けて「笑顔湧き出る関わり方～みんながスポーツを楽しむ場づくりを～」というテーマで講演させていただきました。

辻堂小学校、湘洋中学校、藤沢西高と一番多感な時期を藤沢市内で過ごし、現在はスポーツにおけるメンタルやコミュニケーションに関する仕事として、育成世代からプロアスリートまでをサポートし、同時に日本と韓国でスポーツメンタルコーチの育成を行っています。

2006年から18年間、この仕事を通じて指導者、選手、保護者など様々な方のサポートをさせていただく中で、数えきれないほど感動する場面に立ち会わせていただきました。

また一方で、指導者、保護者、選手の思いに少しだけズレが生じて、コミュニケーションがうまくいっていないような場面、誰かが歯痒い思いをしまっているような現場にも度々出くわすこともありました。

指導者も頑張っている、選手も頑張っている、保護者も頑張っている。皆思いは同じで、子ども・選手の可能性を最大限に形にしたい！スポーツを通じて素晴らしい体験をしてもらいたい！等、とても素敵なものなのですが、今ひとつうまく回っていないという現場も多く存在しています。

そのようなチームがうまく回り始めるためのきっかけの一つが、コミュニケーションやメンタルに関して共通の考え、理解、言語を持つことだと思います。

そこで、指導者向けの研修や保護者向けの研修、選手・子ども向けの研修を別々に開催するのではなく、同じチームの関係者三者が一同に会して同じ体験ができる場を作りたいと考えました。

地元藤沢のチームから「三者会議」を広げていきたい、地元藤沢からもっともっと素敵なスポーツ現場を増やしていきたいと思っております。

同じチームの三者が同時に集う会にご興味ある方がいらしたら下記にご連絡いただけませんかでしょうか。どうぞ宜しくお願いいたします。

一般社団法人フィールド・フロー <https://field-flow.com>

共同代表 柘植陽一郎 (Yoichiro Tsuge) tsugeyoichiro@field-flow.com

編集後記

新しい年を迎えたその日に能登半島で大きな地震。津波でかけがえのない命を奪われ被災された方々に、心よりお悔やみ、お見舞い申し上げます。一日も早い復旧、復興をお祈りいたします。

スポーツ少年団の活動におきましては、今年度もアンケート、ご感想、ご意見等、沢山ご協力いただきまして本当に有難うございました。お陰様でコロナ前の多くの笑顔溢れる活動、交流会に完全復活しつつあります。引き続き工夫して皆様のご意見、ご感想を参考に、より良いものにしていきたく思いますので宜しくお願い致します。

広報誌は藤沢市スポーツ少年団のホームページにもアップされていますので、ぜひご家族の人と一緒に見てくださーいね。